

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 新次世代エネルギーインフラ（公共施設モデル）設備撤去工事

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 新産業・エネルギー振興課 エネルギー係

電話番号：058-272-1111（内 2934）

E-mail：c11353@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,370 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	18,370	0	0	0	0	0	0	0	18,370
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

次世代エネルギーインフラ（公共施設モデル）は、平成21年度「岐阜県次世代エネルギーパーク整備事業」および平成22年度経済産業省「低炭素社会に向けた技術開発・社会システム実証モデル事業」（平成28年度に事業終了、平成29年度に県が当該設備を買取）で、太陽光発電や燃料電池、蓄電池などを組み合わせたモデルであり、県民に実際にエネルギーインフラを身近に触れてもらうことで、普及啓発が図られてきた。

それぞれのシステムが設置されてから10年以上経過し、経年劣化による設備の老朽化が進んでいる。特に、蓄電池システムにおいては昨年末に蓄電能力よりも放電能力が上回ったため、系統から切断した状態となっている。

また、ぎふワールドローズガーデン（都市公園課）では令和4年度に備品の一部が設置されている西ゲートの改修が予定されており、移設費および備品の状態を考慮すると、撤去が妥当であると判断した。ただし、都市公園課が引き続き利用を希望する備品については、撤去せずに管理換えを行う。

(2) 事業内容

ぎふワールドローズガーデンの西ゲート改修工事（都市公園課）にあわせて、原状回復のための撤去を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有備品であるため、県が全額負担する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	18,370	インフラ設備撤去費用
合計	18,370	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 事業主体及びその妥当性

県備品の撤去であるため県が実施すべきである。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ぎふワールドローズガーデンに設置されているエネルギーインフラ設備を西ゲート改修工事にあわせて不要となった備品を撤去し原状回復する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 ()	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 ()	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

県備品の撤去工事を行うものであり、具体的な達成目標を設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	